



1株ずつ丁寧に苗を植える生徒

## 泥まみれ、1株ずつ丁寧に

### 金足農高で生徒田植え

秋田市の金足農業高校（工藤雅文校長、475人）で26日、1年生による田植えが行われた。生徒らは泥まみれに

なりながら1株ずつ丁寧に植え付けた。手植えを通じ、自然に對する豊かな心を育てることなど

が目的で、長年続く恒例の授業。全学科の約150人が参加した。敷地内の田んぼに集合した生徒は、教員や上級生の助言を受けながら、2時間ほどかけて約30坪にあきたこまの苗を植えた。

生徒らは、ぬかるむ泥に足を取られて声を上げながらも、真つすぐ、等間隔に苗を植えていった。今後も生徒らが中心となって生育を見守り、収穫後のコメの活用についても検討していく。

生物資源科の秋本大輝さん（15）は「深く水がたまっている所は、植える場所が分かりづらくて難しかった。気持ちを入れて植えたので立派に育つてほしい」と笑顔で話した。

（小山田竜士）